

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 10 月 19 日(水曜日)～平成 23 年 10 月 25 日(火曜日))

平成 23 年 10 月 26 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 「あかり」が捉えた宇宙最初の星の光について
10月21日(金曜日)、JAXA 宇宙科学研究所を中心とする研究グループは、赤外線天文衛星「あかり」が波長 1 から 4 マイクロメートルの近赤外線ですべて宇宙背景放射(空の明るさ)を観測し、既知の天体では説明できない大きな明るさのむら(揺らぎ)があることを見いだしたと発表した。これは、ビッグバンから約 3 億年後に宇宙で最初に生まれた星(第一世代の星)の集団に起因するものと考えられ、その時期に既に現在の宇宙の大規模構造が存在していたことを示している。この結果は11月1日発行のアメリカの学術雑誌 The Astrophysical Journal に掲載される予定。

宇宙開発に関する海外の動向

- プロトンロケットによる通信衛星の打上げに成功 【露、米】
10月19日(水曜日)18時48分(世界標準時、以下同じ)、米露インターナショナル・ロンチ・サービス(ILS)社は、バイコヌール宇宙基地より、プロトン M/ブリーズ M ロケットを打ち上げ、米 ViaSat 社の静止通信衛星「ViaSat-1」の所定の軌道投入(静止トラ

- ソユーズロケットによる航行測位衛星の打上げに成功 【仏等】
10月21日(金曜日)10時30分、仏アリアンスペース社は、ギアナ宇宙センターより露のソユーズ ST-B/フレガト MT ロケットを打ち上げ、欧州の航行測位システム「ガリレオ(Galileo)」の軌道上実証衛星 2 機の所定の軌道投入(中軌道)に成功した。
今回の打上げは、ギアナ宇宙センターとして、また、カザフスタンのバイコヌール宇宙基地及び露のプレセツク射場以外からの初のソユーズロケット打上げであり、ガリレオ軌道上実証衛星 2 機は、総数 30 機予定のガリレオ衛星の最初の打上げとなった。